

お客様各位

在宅勤務・テレワークに伴い、弊社製品を一定期間使用しない場合のご注意

京都電子工業株式会社

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、新型コロナウイルスの感染予防のため在宅勤務・テレワークを導入された際、弊社製品を一定期間使用されない場合の取扱いについて、下記の通りお知らせいたします。

敬具

記

1) 製品を長期間(2週間程度)使用されない場合の処置

➤ 電位差滴定装置について

ビュレットおよび滴定ノズル内の滴定液を排出し、純水を用いて洗浄後、純水を排出してください。この操作手順は滴定装置の型式により異なるため、詳細は取扱説明書をご参照ください。本体や付属のディスプレイについては電源を落とし、ACアダプタをコンセントから外した状態で保管してください。

➤ 滴定装置用電極について

・pHガラス電極

pH4標準液と3.3mol/L塩化カリウム水溶液を1:1の体積比で混合した溶液に浸漬して保管してください。この際、濃縮による塩化カリウムの析出を抑制するため、付属の電極保存用ボトルを使用することを推奨します。

・カルシウムイオン電極・複合界面活性剤電極

電極を純水等に浸漬せず、感応部が乾燥した状態で保管してください。複合界面活性剤電極は内部液が枯渇しないよう、3.3mol/L塩化カリウム水溶液を充填し、内部液充填口を密栓してください。

長期保管後に複合界面活性剤電極ご使用される際は、ご使用の内部液を用いて共洗い後、新しい内部液に交換してください。

・比較電極

内部に銀-塩化銀電極を有する電極は3.3mol/L塩化カリウム水溶液を充填し、内部液充填口をゴム栓で密栓後、純水に浸漬して保管してください。水銀-硫酸水銀電極の場合、飽和硫酸カリウム水溶液を充填し、ゴム栓で密栓後、純水に浸漬して保管してください。

長期保管後にご使用される際は、ご使用の内部液を用いて共洗い後、新しい内部液に交換してください。

・複合型電極(複合界面活性剤電極を除く)

比較電極の内部液が枯渇しないよう、ご使用の内部液を充填し、内部液充填口をゴム栓で密栓してください。

複合ガラス電極は pH4 標準液と 3.3mol/L 塩化カリウム水溶液を 1:1 の体積比で混合した溶液に浸漬して保管してください。この際、濃縮による塩化カリウムの析出を抑制するため、付属の電極保存用ボトルを使用することを推奨します。その他の複合型電極は純水に浸漬して保管してください。

長期保管後にご使用される際は、ご使用の内部液を用いて共洗い後、新しい内部液に交換してください。

➤ 容量滴定式カールフィッシャー水分計について

滴定フラスコ内の試薬は排液し、メタノールを用いて電極、滴定フラスコを洗浄してください。その後、滴定フラスコにメタノールもしくは脱水溶媒を充填し、滴定ノズル先端部を液中に浸漬して保管してください。

ビュレットおよび滴定ノズルの滴定液を排出した後、配管やビュレット、滴定ノズルにメタノールを通過することで洗浄してください。その後、メタノールを排液してください。

本体や付属のディスプレイについては電源を落とし、AC アダプタをコンセントから外した状態で保管してください。

長期保管後に使用される際は、滴定液のパーズを 5 回程度行った後、滴定ノズルから滴定液を約 1mL 排出してください。また、滴定フラスコ内のメタノールや脱水溶媒を新しいものに交換後、予備滴定を実施してから測定を行ってください。

➤ 電量滴定式カールフィッシャー水分計について

滴定フラスコに試料が蓄積しており、ケトン用陽極液以外をご使用の場合、陽極液および陰極液を排液してください。また、電極類・滴定フラスコをメタノールで洗浄し、乾燥状態で保管してください。

滴定フラスコに試料が蓄積しており、ケトン用陽極液をご使用の場合、電極類および滴定フラスコをアルコール以外(トルエン等)で洗浄し、デシケータなどを利用しできるだけ乾燥状態で保管してください。滴定フラスコに試料が蓄積していない場合は、そのまま保管して問題ありません。

なお、本体や付属のディスプレイについては電源を落とし、AC アダプタをコンセントから外した状態で保管してください。

長期保管後に使用される際は、新しい陽極液と陰極液を充填し、予備滴定後に測定を行ってください。

2) 1) の処置を実施せず装置を長期間保管された場合

➤ 電位差滴定装置について

滴定液が充填された状態で保管された場合、滴定液中の成分が析出することにより、滴定ノズルが閉塞している可能性があります。ノズル先端を目視で確認して下さい。閉塞が認められる場合は、滴定ノズル先端を滴定液が溶解する溶液に浸漬し、攪拌することで洗浄してください。

マニュアル操作によって滴定ノズルから滴定液を排出し、正常に吐出されるか確認してください。この際、異音がしたり滴定液が正常に吐出されない場合は、すぐに吐出を停止してください。

品番：12-00649-00

品名：ノズル(拡散防止タイプ) FEP $\phi 3 \times 2 L=152$

➤ 滴定装置用電極について

・pH ガラス電極

pH 標準液を用いて pH4、7、9 で校正を行い、pH あたりの電位の変化を確認することを推奨します。

52mV/pH 以上であれば、感度としては正常です。

➤ 容量滴定式カールフィッシャー水分計について

滴定液が充填された状態で保管された場合、滴定液中の成分が析出することにより、滴定ノズルが閉塞している可能性があります。この場合、滴定ノズル先端をメタノールに浸漬し、1 時間程度攪拌してください。

以上